



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

6月に入り大学のキャンパスは銀杏並木もすっかり新緑に覆われ、初夏のすがすがしい季節となりましたが、新学期に入ったというのに新型コロナウイルスの影響で相変わらず学生の姿はまばらで、閑散とした日々が続いています。

最近 SDGs（持続可能な開発目標）に関連した記事や広告が目につくようになりました。ビジネスの分野では、自らブランド価値を高めるために SDGs への貢献を推進する取り組みを積極的に発信する企業や団体が増えているからです。

ご存じのとおり 2015 年 9 月に国連サミットで採択された SDGs は 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。ビジネスの世界においては、世界共通のゴールと言われていますが、企業価値を高め、中長期の成長を実現するために、具体的にどのように SDGs に取り組んでいけばいいのか頭を悩ませている経営者も多いのではないのでしょうか。SDGs への取組は、社会全体が抱える問題解決のため、ビジネスの世界にとどまらず、関連するあらゆる分野でその対応が求められるようになってきました。こうした情勢を背景に、本学への技術相談案件も SDGs を意識した課題に取り組む企業等の相談が増えているように思われます。

先日、無農薬・化学肥料を使わない農業を目指すある企業を訪問してきました。

この企業では、食の安心・安全をテーマに有機農法を実施するため、有機肥料を使い、3 年をかけて徹底した土壌改良や生産した農産物の地産地消を目指しているため、本学に技術的な相談やアドバイスをしてもらえないかというものです。これは、「目標 No15 大陸の豊かさを守ろう」の取組にあたります。

昔から有機農業に取り組む農業生産者はおりますが、コストパフォーマンスの悪さから、あまり普及しませんでした。しかし現在は、ICT などの技術の導入や環境配慮に対する社会の判断基準が変わるなか、有機農業普及の可能性が高まっているのではないかと思います。

気候変動を抑制するために低炭素社会の実現も開発目標「No13 気候動に具体的な対策を」や「No7 エネルギーはみんなに」につながっています。

2050 年の温暖化ガス排出量を実質ゼロにする目標を明記した「改正地

球温暖化対策推進法が先月 26 日に成立しました。

その実現のためには様々な取り組みが必要ですが、将来のエネルギーとして最も期待され、日本が世界に誇る水素・燃料電池に関する最先端の研究が、本学の燃料電池ナノ材料研究センターやクリーンエネルギー研究センターなどで行われているのは周知のことです。

その研究の成果がこの度発表されました。山梨県、山梨大学、民間企業が協同で水素・燃料電池のスタック、システム、活用方法などを研究している水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成事業のプロジェクトの一環で、日邦プレジジョン(株)を中心に開発が進められてきた、国産燃料電池スタックを使用した FC (燃料電池) 電動アシスト自転車国内第一号となる試作機が完成し、5 月 31 日 (月) に山梨大学ナノ材料研究センター敷地内で御披露目式が開催されました。

各企業も水素の将来性に着目し、保有技術の水素関連事業への応用など新分野への参入を目的に、水素関連技術に関する問い合わせや相談が増えています。

最近のコーディネータ活動などから、SDGs に絡めた話題を取り上げましたが、私たちの生活や社会活動、企業等の経済活動等は、そのほとんどが SDGs における「より良い世界を目指す 17 のゴール」につながっています。

したがって、私たちはさまざまな社会の課題と SDGs とのつながりを理解し、持続可能な世界を築くためにはどのように行動すべきか、意識をもって取り組むことが大切ではないでしょうか。

インフォメーション 目次

- 01 : イベント情報 (3 件)
- 02 : セミナー情報 (1 件)
- 03 : 助成事業および公募情報 (4 件)
- 04 : 事務局からのお知らせ



- 01 イベント情報 (3 件)

◆「新技術情報クラブ令和 3 年度第一回交流会」開催のご案内

今年度第一回目となりますクラブ交流会を令和 3 年 7 月 16 日(金)に開催する予定です。依然としてコロナ禍でありますので、昨年度同様、今回も web(zoom)での交流会となります。詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたしますので、ぜひご参加くださりますようお願い申し上げます。

◆「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」

本学では、中学生・高校生の皆さんを対象とする「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を、日本学術振興会とともに実施いたします。

今回は、医学部の川原敦雄教授のゲノム編集技術の研究をテーマとしたプログラムを開催します。

大学や研究機関で行われている最先端の研究成果を直接見聞きし、体験することで、科学の面白さを感じてみませんか。中高生の参加募集となりますので、お身内、お知り合い等にご案内ください。

日時：【高校生】令和3年8月2日(月)・3日(火) 13:00~16:00
【中学生】令和3年8月4日(水) 13:00~16:00
場所：医学部講義棟3階1302教室

詳しくは下記 URL よりご覧ください。
<https://www.yamanashi.ac.jp/31388>

◆【大村記念図書館・放送大学・山梨大学】
放送大学公開講座「日本人の言語行動」

コロナの時代、人と人をつなぐことばを使う機会もめっきり減ってきました。本講座では、コミュニケーションという観点から、日常生活のごく平凡なことばづかいをふりかえることで、日本人がどのような人間関係を大切にしてきたか、日本人の言語行動の特徴についてを再考してみたいと思います。

また、私たちが日常生活でよく使う日本語表現を分析することで、人はことばによって社会を生み出しているという新しい言語観について紹介しようと思います。

日時：令和3年6月12日(土) 13:30~14:45
場所：韮崎市民交流センター(ニコリ) 3階多目的ホール

詳しくは下記 URL よりご覧ください。
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamanashi/about/upload/19adb598e8a9e5c71fb5b7795b23aede_1.pdf

□ ■
■02 セミナー情報 (1 件)

◆【甲府商工会議所】新人社員フォローアップ研修

入社されて間もない方を対象に、ビジネスマナーの再確認や、仕事への取り組み姿勢などを再考するために、本研修を開催いたします。貴社の人材育成に本研修をぜひご活用ください。

日時：令和3年7月2日(金) 13:30~16:30
場所：甲府商工会議所 5階ホール

詳しくは下記 URL よりご覧ください。
<https://kofucci.or.jp/seminar/20210702/>

□ ■
■03 助成事業および公募情報 (4 件)

◆【甲府商工会議所】採用支援事業「モグジョブ」実施のご案内

モグジョブは採用したい企業と学生をマッチングする事業です。大学の学食で昼食を食べて、フランクな交流の中で自社のことを知ってもらう…というのが最大の特徴ですが、昨年度に引き続き、一部オンラインにするなど感染対策を万全にしつつ県内4大学にて実施して参ります。ただ今、参加企業を募集しております。募集期限が迫っておりますので、お早めにモグジョブのご活用をぜひご検討ください。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。
<https://kofucci.or.jp/news/20210601/>

◆【関東経済産業局】広域関東 de 人材シェア！

雇用に悩む中小企業等の皆様を、在籍出向により、コロナ禍における雇用

維持と人材不足を支援します。

関東経済産業局、労働局、産業雇用安定センター、自治体が連携して「人材マッチング」で記者の経営をサポートします。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kanto-share.meti.go.jp/>

◆【甲府市】 インターンシップ受入助成金事業

甲府市内の事業者による学生の積極的なインターンシップの受け入れを促進することにより、産業人材の育成と学生の市内就職を図ることを目的として、学生をインターンシップにより受け入れた市内の事業者に対し、助成金を交付します。

助成金は、1 事業者につき、1 日 10,000 円（上限 50,000 円）となります。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/rose/kurashi/2021internship.html>

◆【山梨県機械電子工業会】やまなし匠の技・伝承塾 受講生募集

次代の「ものづくり」を支える若年技能者の技能向上を図るため、「やまなし匠の技・伝承塾」を次のとおり開塾します。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.ymeia.org/wp-content/uploads/2021/05/28b2cd554f472aac230cc1e86b22dbcd.pdf>



■04 事務局からお知らせ

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。会員会社様の持つておられる技術課題を伺います。

ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

◆新技術情報クラブ会費納入のお願い

年会費の納入期限が今月末となっております。お手数をおかけいたしますが、まだの会員様は期限までに納入頂きますようお願い申し上げます。これからも会員の皆様に有益な情報をご提供できるよう、努めていく所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆令和 3 年 7 月末発行予定の山梨大学広報誌 Vine(ヴァイン)Vol.39 の有料広告を募集しています

広報誌 Vine は、発行部数 16,000 部(Vol.38 実績、前後する場合があります)、フルカラーで全国の教育機関や山梨県内の公共施設等に配布しています。

ぜひ、貴社の広告、PR 活動にお役立てください。

広告掲載のご希望がありましたら、6 月 30 日(水)までに下記 URL 詳細ページ内のお問い合わせ先までご連絡ください。

山梨大学広報媒体への広告掲載について

<https://www.yamanashi.ac.jp/about/29620>

広報誌 Vine Vol.38

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/Vine.38.pdf>



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

